

くわばら地区まちづくり通信

桑原地区まちづくり協議会
 〒904-1821 桑原2丁目13-6
 kawa-machi@lib.e-catv.ne.jp



Vol.34
 タイトルイラスト: 向井志織さん

桑原フリーマーケット開催・出店のご案内

今年の冬は暖冬で、春の訪れも早まる気配ですが、春の風物詩となっております。桑原フリーマーケット・バザーが今年も桑原中央通りで開催されます。ほのぼのとしたひと時を一緒に過ごしてみませんか。皆さんのお越しをお待ちしています。

■くわばらまちづくりフリーマーケット・バザー
 日時: 3月12日(日) 10:00 ~ 13:00
 場所: 桑原中央通り



(桑原5丁目34番地先/歩道南側市有地・3ブロック間)

■出店募集
 出店参加者を募集します。出店参加者希望の方は下記事務局までご連絡ください。
 提供区画数: 全25区画 1区画 3.0m x 3.0m
 出店料1区画 1,000円
 【連絡先】事務局 朝山 090-1000-3666
 (申込締切 2月22日 水曜日)
 ※ 雨・風をしのげる設備はありません。



こころの健康フォーラム

■ 日時: 3月5日(日) 10:00 ~ 14:20 予定
 ■ 場所: 畑寺福祉センター

こころの健康づくりを推進することを目的に、今年度も「こころの健康フォーラム」を開催させていただくことになりました。昨年度から、開催場所が畑寺福祉センターに変更になっています。当日は、講演やバザーなどを行う予定です。他にも様々なイベントをご用意しています。楽しみながら、こころの健康について考える機会になればと思っていますので、皆様の参加をお待ちしています。
 きらりの森 徳本



門松作り

12月25日恒例の門松作りを、畑寺分館にて行いました。残念ながら、参加を呼びかけた東雲大学と愛大農学部の留学生は都合で不参加となりましたが、今年の年末はぜひ参加して日本の文化に触れてもらいたいと思います。留学生や一般の方にも作れるように、まちづくり協議会の学生部に協力してもらい、ミニチュア門松を模索して作ってみました。門松づくりに慣てきたのか今回は昼過ぎに完成することが出来ました。出来栄の感想は桑原神社に飾られた門松を見られた方の判断にお任せします。来年はたくさんの方に参加してもらい楽しんでもらえたらと思います。
 教養文化部 市川



保健福祉部 介護予防講座 「100才バンザイ体操」

11月28日(土)桑原公民館2階で、内閣府NPO法人 日本フィットネスコミュニティ協会理事長の熊谷清美氏をお迎えし、介護予防・機能回復・認知症予防講習と、実技指導として100歳まで元気に生きることを目的に、熊谷先生が考案された100才「バンザイ体操」実技指導が行われました。

参加者は男性7名、女性21名の計28名で、熊谷先生の明るく楽しくはつらつとした指導のもと、テンポのいい音楽に合わせ、呼吸(特に吐く息)の大切さを学びながら、心地よい汗を流しました。参加者にはアンケートをお願いしましたが、全員「大変良かった」。



日常生活で活用できそう」とか「今後の健康維持に役立てていきたい」「体操をマスターして、知り合いに伝えていきたい」「もっと広報すれば、より多くの人に参加できたのではないかな」などの意見がありました。また、「回数を増やして、毎月やってほしい」など、大変好評でした。平成29年度も保健福祉部では、いつまでも元気な桑原地区を目指して、地域の皆様のお役に立ち、喜んでいただける事業を企画して参りますので、より多くの皆様のご参加をお待ちいたしています。

平成28年度出前講座(松山市桑原公民館編)

【えひめ女性財団出前講座】防災・減災・復興～女性力・地域力～

11月25日(金)桑原公民館(参加者:38名)にて「防災・減災・復興～女性力・地域力～」をテーマに、グループワークやカードゲームを交えて男女共同参画の視点から災害対策等について考えました。グループワークでは、自分たちが住んでいる地域防災についての話し合いだったのですが、意外にも参加者から「避難場所までのルートがわからない」、「避難所に何が備蓄されているか知らない」といった意見が多く出され、一般家庭まで防災対策が行き届いていない現状が浮き彫りになりました。



また、東日本大震災の被災地で実際にあった「避難所でのトラブル」を例に挙げ、防災の段階から男女双方から様々な視点でのニーズ把握の大切さを知りました。その後のワークでは、自分は地域で何が出来るか、これから自分はどう行動するかを熱く議論していました。



講義に先立ち、桑原公民館の方から、桑原地区には2万6千人ほどの方々が暮らしおり、男女の割合では女性の方が2千7百人ほど多いことや、一人暮らしをしている高齢者の男女比でも3対7で女性の方が多いということ等を聞いていたこともあり、災害に強い地域づくりには、日頃から地域の繋がりを意識し、男性中心ではなく女性も積極的に参画していくことが大切であることを実感する講義となりました。



公益財団法人えひめ女性財団常務理事 越智やよい

50kmチャレンジ歩行

10月23日(日)、全校生徒による50kmチャレンジ歩行が行われました。



天候はなんとか持ちこたえ曇り空。生徒たちは各自の目標とする折り返しポイントを目指し、元氣よく学校を出発して行きました。



「めっちゃうまいっ」と氷砂糖をほおぼる生徒を見ながら、お疲れ様!という気持ちと同時に羨ましく感じました。自分の目標を達成できた、できなかったに関わらず、このチャレンジは子どもたちにとって生涯記憶に残る経験になったことでしょう。



PTA、おやじの会、地域ボランティア、青色パトロール隊、学生ボランティア、200名以上の皆様の御支援、御協力により、子ども達のサポートを滞りなく行うことができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



つきたてのおもちに大喜び

昨年12月5日(月)、桑原小学校の2年生は自分たちで田植えをし、刈り取ったもち米を使って、もちつきをしました。



地域や公民館、JA桑原の方、保護者の方に見守られながら、ひとつきひとつき「おいしいおもちになつて欲しいな。」という願いを持ってつきました。できあがったおもちもちは、砂糖醤油、大根おろし、きなこで味付けをしました。



みんな「つきたてのおもちには、やわらかくて、とってもおいしい。」と大喜び、お米のおいしさも、米づくりの大切さを学んだ学習になりました。お世話になった皆様、本当にありがとうございました。

「バザー余剰品寄付のお礼」

前回号にて、地域の皆様に余剰品のお提供をお願いしたところ、様々な種類の品物がたくさん集まりました。

バザー当日は、たくさんの方に来ていただいて盛大に開催することができました。ありがとうございました。桑原中学校PTA・桑原小学校PTA

東野上 (神輿守会)

かつての秋祭りは、桑原・素鷲校区が一同に集い「東ノ宮」「西ノ宮」かまどの神輿が集い、百間土に長い行列を作る程の賑わいでしたが、東野上は、50年近く宮出しに参加する導や披露を中心として人数で神輿を担ぎ、地区での小規模な祭りを楽しんでいました。各町からのお誘いを受け、また、大人神輿を新調した事をきっかけに町内でかき夫を集め宮出しに参加させていただき、若い元氣な青壮年が集まってくれました。



現在、東野上神輿守会の若頭が出席させていたのですが、町内会と協議を行い、平成29年度は「東野上町内会」の一組織として位置づけ、「神輿守会」「獅子舞保存会」「子供会」等と横の連携を取った組織として位置付け、町内の「運動会」「サマーフェスティバル」「文化祭」その他諸活動を盛り上げて東野上を活性化すると、桑原地区の活動にも参加する事で、子供達を育て、年寄りを労わり、明るく、元氣で楽しい町内になつて欲しいと願っています。



【連絡先 東野上 神輿守会 清家 雅弘 090-3185-0117】

文責 神輿守会 頭取 菅 純教

青壮年有志の会

「青壮年有志の会」では、まちづくり協議会の活動を進めていく上で、若い世代の人材発掘や行事への参加促進を図る取組が大切であると考え、平成28年9月に活動方針をまとめました。また10月からは、どのような活動を行うべきか、まちづくり学生部の人たちも参加してグループ討議を行い、その内容や優先順位を煮詰めています。



(知事・市長との意見交換・交流会)

若い人たちと市長が直接会う機会も実現し、7月の意見交換会、10月の秋祭り宵宮における神輿練りのほか、12月には知事も同席されての意見交換会など、まちづくりについては、これから活動を考える上で大きな刺激になりました。各町で活動している青壮



年たちが、一つになって力を出し合い地域を盛り上げる、そして地域の方々に喜んでもらえる、そんな取組を進めていければと考えています。



(知事・市長との意見交換・交流会)

“笑う門には福来たる”新春放談会(落語寄席)



1月21日畑寺福祉センターにて、恒例の新春放談会が開かれました。年の始まりを笑って迎えるっていいですよね!今年もらくさぶろう一座をお招きして、楽しいひと時を過ごすことができました。



今年初めて松山大学の落研からも出演があり、新たなページがスタートしました。学生による漫才と、ひめさぶろうとらくさぶろうによる落語の4本立て、大喜利で会場を笑いの渦に巻き込みました。

ひめさぶろうさんは、この後南海放送の出演がありました。こちらの出演を優先していただき、終わり次第スタジオのほうに駆け付けました。無事間に合ったので、放送の冒頭に今日の新春放談会のことを報告していました。

笑う門には福来たる!皆さんも来年はぜひご来場いただき笑いの渦の中にならなれませんか? 教養文化部部长 市川



教養文化部部长 市川